

環境調査結果のお知らせ

概況

本日、環境調査を行いましたので結果を送付いたします。

表層で31℃以上となっている地点があり、水深10mでも28℃以上となっている地点があります。

検鏡の結果、赤潮原因プランクトンであるプロロセントラム・シグモイデスが最大で2細胞/mL確認されました。

柱状採水（0～10mの海水をひとまとめに採水）した海水では、下痢性貝毒の原因種とされるディノフィシス属が栄喜奥で0.03細胞/mL、青瀬山で0.01細胞/mL、ヒロウラで0.10細胞/mL確認されました。

ディノフィシス属は、主に二枚貝（食用を含む）毒化させる恐れがあるので十分注意してください。

今後、飼育魚や海色等に異常が確認された場合は、海水をペットボトル等で採集し、漁協もしくは宿毛漁業指導所にご連絡下さい。

調査点 (透明度/水深) 【調査時刻】	海洋環境				プランクトン	
	深度 (m)	水温 (℃)	塩分	溶存酸素 (mg/L)	コクロディニウム・ ポリクリコイデス	プロロセントラム・ シグモイデス
A 藻津 (-/35.3m) 【09:41】	★ 0	30.2	32.7	6.7	0	0
	5	28.3	33.5	6.5	0	0
	10	27.5	33.8	6.5	0	0
	15	26.7	33.7	6.1	-	-
	20	26.3	33.7	5.3	-	-
B 大島中央 (-/28.2m) 【09:50】	★ 0	29.8	32.9	6.8	0	0
	5	28.9	33.6	7.0	0	0
	10	27.7	33.8	6.2	0	0
	15	27.1	33.8	5.8	-	-
	20	26.6	33.8	5.3	-	-
C 小筑紫中央 (-/47.7m) 【09:59】	★ 0	30.0	33.4	7.0	0	0
	5	28.8	33.7	7.0	0	0
	10	28.0	33.9	6.9	0	0
	15	27.4	34.0	6.9	-	-
	20	26.9	33.9	6.6	-	-
D 栄喜奥 (-/11.3m) 【10:19】	★ 0	31.0	31.6	6.5	0	1
	5	28.2	33.6	6.9	0	1
	10	27.0	33.6	6.4	0	0
E ヒロウラ (-/24.1m) 【10:43】	0	30.3	32.2	6.6	0	0
	5	28.1	33.5	6.9	0	0
	10	27.0	33.6	6.2	0	0
	★ 15	26.6	33.6	6.3	0	0
	20	26.2	33.6	6.1	-	-
F 青瀬山 (-/15.2m) 【10:27】	0	30.9	32.3	6.5	0	0
	5	28.6	33.5	7.2	0	0
	10	26.8	33.6	7.0	0	2
	★ 14	26.5	33.6	6.6	0	0
	15	26.3	33.7	6.3	-	-

クロロフィル量が極大の深度および、0m、5m、10mの深度から採水した海水の検鏡を実施しています。

★：採水したサンプルの内クロロフィルが極大であったもの

プランクトンの細胞密度について、小数点第2位まで記載のあるものは、海水100mLを濃縮して検鏡しています。

こちらの「環境調査」は、高知マリンイノベーション情報発信システム「NABRAS」(URL：https://kmi-nabras.pref.kochi.lg.jp)においてもご覧いただけます。

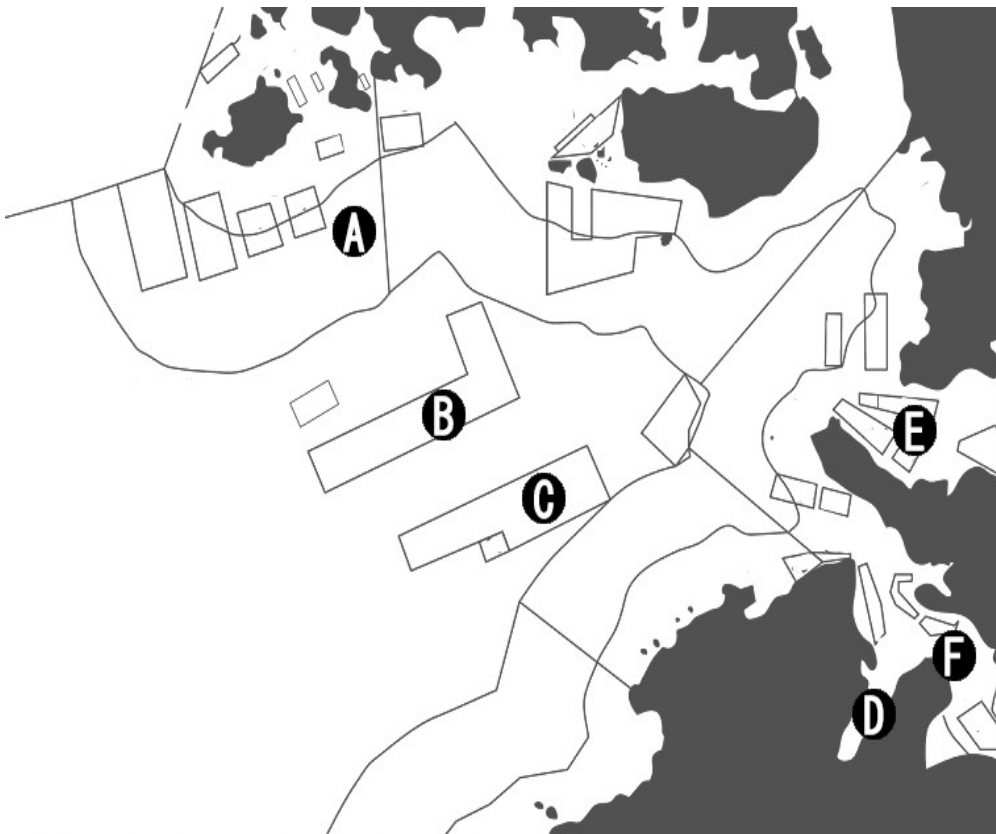
参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準

有害プランクトン	被害	注意基準（※1）	警戒基準（※2）	主な赤潮発生時期 ※3
				宿毛湾
コクロディニウム・ポリクリコイデス	魚類等のへい死	10 cells/mL	100 cells/mL	5～6月

※1 注意基準：餌食いの悪化、警戒基準に達する恐れのある密度

※2 警戒基準：魚類及び二枚貝のへい死並びに二枚貝の毒化が想定される密度

※3 あくまで目安なので、水産試験場・漁業指導所の広報や養殖魚の状態に応じて、慎重な養殖管理をお願いします。



- A: 藻津 D: 栄喜奥
 B: 大島中央 E: ヒロウラ
 C: 小筑紫中央 F: 青瀬山

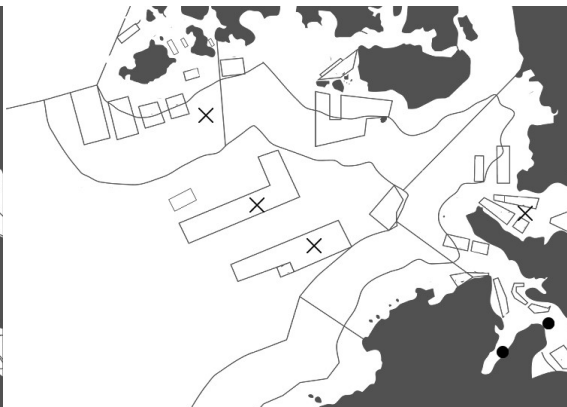
コクロディニウム・ポリクリコイデス

最大細胞密度



プロロセントラム・シグモイデス

最大細胞密度



凡例

プランクトンの細胞密度を示す円の大きさ

円のサイズが大きいほど、プランクトンの数が多いので注意してください。

0
×

1~9

10

100

1,000

10,000

100,000

300,000

注意・警戒を示す円の色

黄・赤色の円が確認された場合は、魚介類に悪影響が生じる可能性がありますので、注意してください。

基準値は、「参考：有害プランクトンの種類と注意及び警戒基準」を参照ください。

注意基準の値以上



警戒基準の値以上

